

★大恐慌以上の悪化の可能性＝ジョン・スティグリッツ

米経済学者のスティグリッツ氏は3月24日のニューヨーク WCBS880 放送の電話インタビューで次のように語った。

Q 一回か2回給料がもらえなかっただけで破産する米国人がたくさんいると聞いています。そういうことになるのでしょうか。

A 統計では、とても不安定な状態の人が非常にたくさんいます。銀行口座に500ドル未満しかない人の割合が非常に高いのです。そういう人は給料を1回ももらえなかっただけで食べ物も買えず、家賃も払えなくなってしまうのです。コロナウイルスでこの人たちに給料がでなくなっていくます。失業率は20%、さらには30%まで上昇する可能性があるかと予想されていますが、失業手当が適切なタイミングで支給されるかどうかわかりません。米国の失業保険制度は先進国で最も貧弱な部類はいるので、カバーされない人がたくさんいるのです。

Q 政府は小切手を発送したいと考えていますが、人々にはどのようなアドバイスをしますか？ すぐにお金を使うのでしょうか、それとも雨の日のために貯金しますか？

A できるだけ慎重にした方がいいと思います。多くの人にとって難しいことだと思いますが、収入がなくなれば食料切符をもらえるし、立ち退きや差し押さえ、賃貸料、クレジットカードの支払い猶予をしてもらえることもできます。私だったら\$2,000の前払いをしていたでしょうし、危機が4週間、6週間以上続けば2回目の支払いが行われるでしょう。残念なことに議会はそのつもりはありません。そういう組み立てをしていません。1回限りの支給で将来にむけて最高の結果を期待させているのです。ですから私はある程度の用心をしておくことを提案します。

Q ご存じのように、銀行にいったってお金をおろしておいた方がいいという人がいますね。銀行の取り付けがあるのでしょうか。早く銀行からお金をおろしてベッドの下に隠しておくべきなのでしょうか。

A いいえ、その可能性は最も低いと思います。みんなのお金はすべて銀行が連邦預金保険 (FDIC) をかけています。つまり25万ドル程度以下の預金であれば心配りません。あなたの銀行口座は政府が守ります。ですから心配する必

要はありません。政府が印刷機を高速化するのは非常に簡単です。(とりつけなどは)すべての懸念のなかで、私のリストでは低いです。

Q 大統領はこれが終われば経済は立ち直り、V字回復して、これまで以上に良くなるいいましたが、あなたも同じような自信がありますか？

A いいえ、ありません。この危機になる前から経済はあまり力強くありませんでした。大方の予測では、3月は減速して成長は2%未満とみられていましたし、投資の水準が低いことが心配されてきました。2017年の税法案に盛り込まれた刺激策の大きさを考えると、経済活動の低迷は本当に際立っていました。そして、その税法案の中で企業と億万長者への減税分を賄うために大部分の人たちへの税率が上がるように設定されたのです。ですから私たちの多くは危機の前に経済が良好だとは考えていませんでした。今、問題はバランスシートです。これが個人と企業の両方で骨抜きになっています。不確実性のレベルが高水準になり、政権への信頼が損なわれています。問題は、これらの不確実な状況下で人々が投資をする意思があるかということです。非常に慎重になると思います。みんなが日頃から望んでいるような回復があるようには思えません。

Q 大恐慌に匹敵するのでしょうか？

A 多くの点で1929年の不況よりも悪くなると思います。今回は下降がはるかに急です。当時は経済を回復させる策がありました。問題は総需要の不足に過ぎませんでした。ニューディールは、経済を再刺激する方法の一連の原則を示しています。我々はそれを十分に実行しなかった、多くの民主党の間でさえ、財政赤字について行き過ぎた懸念があったのです。今私たちに必要なのは刺激策ではありません。需要の不足が問題ではないのです。問題は人々がウイルスの恐怖のために仕事に行くことができないことであり、必要なのは大規模な社会的保護です。米国はほとんどすべての先進国の中で社会保護の最も脆弱な国なので、社会保護制度を墜落しないように応急修理をする必要があります。それは本当に難しくなるでしょう。それは回復が非常にむつかしくなることを意味します。

(了)